

岩手県感染症週報

平成18年第49週（12月4日～12月10日）

岩手県結核・感染症情報センター

第49週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・梅毒の報告が1例ありました。患者は70歳の男性です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

・感染性胃腸炎は、患者の増加が続き、北上及び奥州地区では警報値（定点あたり患者数20人）を超えています。また、内陸部及び沿岸南部でも患者が多くなっています。県内各地の保育園、学校、老人福祉施設等の集団生活の場で、ノロウイルスによる集団感染事例が引き続き相次いでいます。予防には、食事前、帰宅後や汚物処理後の石けんを用いた十分な手洗いを徹底することが重要です。患者の汚物を処理する際には、使い捨て手袋とマスクを着用し、汚物を新聞紙等で拭き取った後、50倍に薄めた塩素系漂白剤で湿らせた紙タオルで汚染場所を覆い、10分程度経ってから水拭きすることが有効です。

・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、奥州地区で患者数の多い状態が続いています。

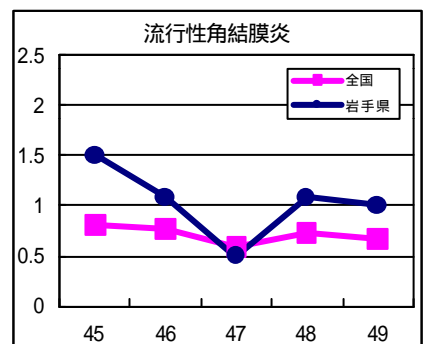
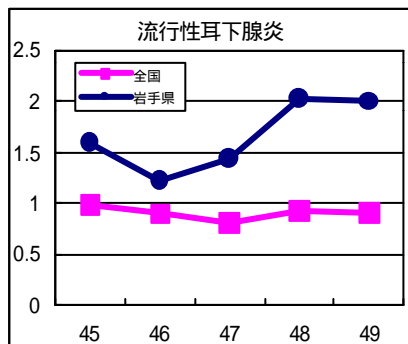
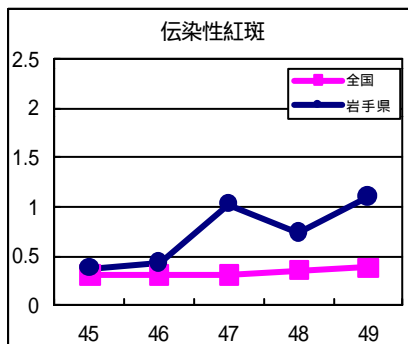
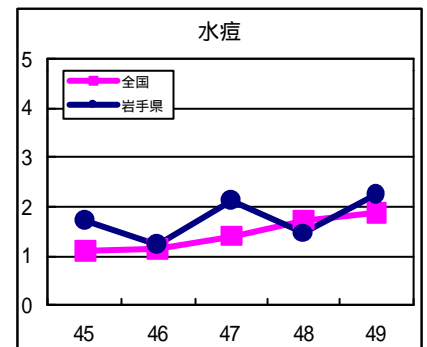
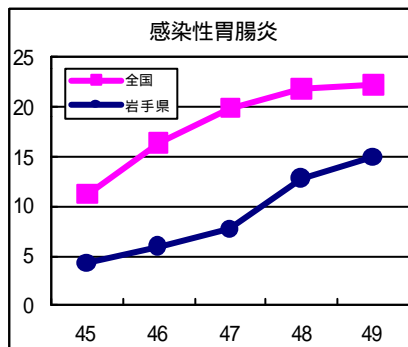
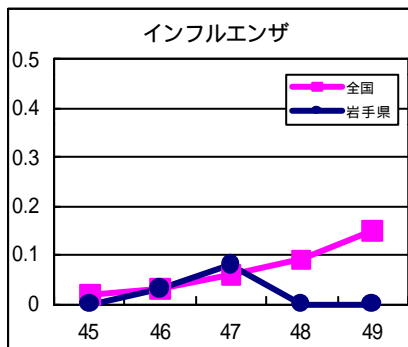
・伝染性紅斑（りんご病）は、奥州及び一関地区で患者数が多い状態が続いています。

・水痘は、大船渡地区で増加しました。

・インフルエンザの流行は、全国的にまだ始まっていませんが、流行が始まる前に予防接種を済ませることをお勧めします。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		45	46	47	48	49		
インフルエンザ	岩手県	0	0.03	0.08	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.06	0.09	0.15		
RSウイルス感染症	岩手県	0	0.03	0.08	0.23	0.26	→	
	全国	0.1	0.16	0.21	0.36	0.63		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.05	0.03	0.08	0.05	→	
	全国	0.31	0.33	0.35	0.43	0.48		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.95	1.1	1.05	0.97	1.05	→	
	全国	1.53	1.75	1.76	1.95	2.14		
感染性胃腸炎	岩手県	4.23	5.97	7.64	12.74	14.92	↗	
	全国	11.22	16.42	19.83	21.77	22.16		
水痘	岩手県	1.72	1.23	2.13	1.46	2.26	↗	
	全国	1.12	1.17	1.41	1.73	1.89		
手足口病	岩手県	0.62	0.36	0.44	0.56	0.72	→	
	全国	0.64	0.55	0.52	0.5	0.54		
伝染性紅斑	岩手県	0.38	0.44	1.03	0.74	1.1	↗	
	全国	0.32	0.31	0.32	0.36	0.39		
突発性発疹	岩手県	0.44	0.44	0.23	0.54	0.36	→	
	全国	0.61	0.61	0.6	0.62	0.59		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.18	0.08	0.15	0.15	0.21	→	
	全国	0.06	0.05	0.04	0.04	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.59	1.23	1.44	2.03	2	↗	
	全国	0.99	0.9	0.81	0.93	0.91		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.01	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.5	1.08	0.5	1.08	1	→	
	全国	0.81	0.77	0.59	0.73	0.67		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.8	0.7	0.65	0.95	0.8	→	
	全国	0.65	0.69	0.58	0.61	0.57		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	（週） 岩手県					全国		
		45	46	47	48	49	累計	49	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	38
	細菌性赤痢	0	0	0	2	0	2	3	342
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	56
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	20
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	0	0	0	88	39	3656
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	38
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	211
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	16
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	2
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	5	20	309
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	45
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	44
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	マラリア	0	0	0	0	0	1	0	50
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	11
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	1	0	0	6	7	394	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	23	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	8	539
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	3	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	1	6	0	0
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	0

今注目の感染症

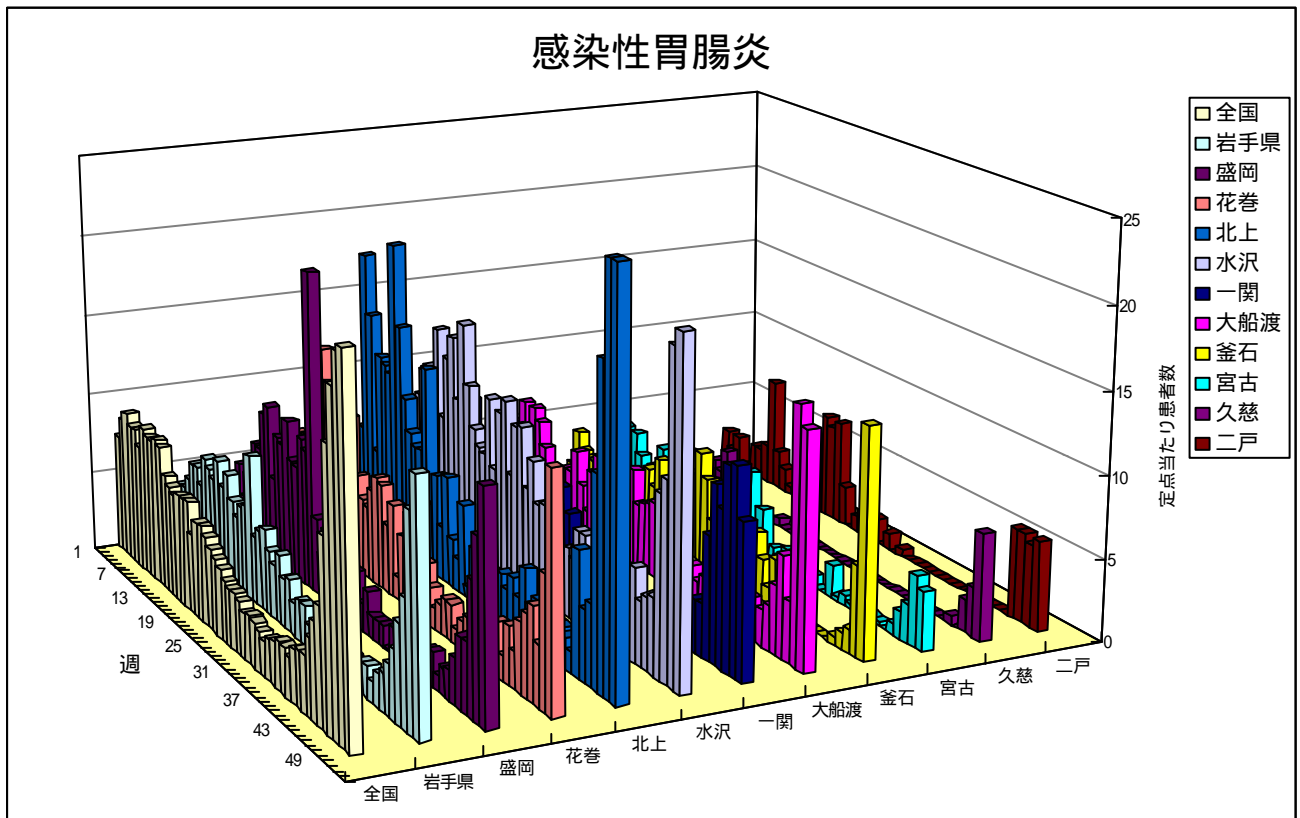
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、毎年冬季に流行が見られ、今年も患者の増加の増加が続いている。この時期にはノロウイルスによるものが多く、県内の学校や福祉施設等での集団感染も報告されている。

ノロウイルスの感染経路は、（１）ノロウイルスに汚染されたカキ等の二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合、（２）ノロウイルスに感染した食品取扱者により汚染された食品を食べた場合、（３）患者の糞便や嘔吐物等から二次感染をする場合、等がある。

患者の糞便や嘔吐物には、大量のノロウイルスが含まれていることがあるので、汚物処理時の手袋やマスクの着用、汚染場所の消毒、十分な手洗いが重要である。

消毒には塩素系漂白剤に含まれる次亜塩素酸ナトリウムが有効である。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

感染性胃腸炎の集団発生について

- ・いずれも原因はノロウイルス
- ・平成18年1月以降の感染性胃腸炎集団発生件数：18件（ノロウイルス17件、ロタウイルス1件）

市町村	施設 (入所者数、職員数)	期間	有症者数 (入所者数、職員数)
一関市	特別養護老人ホーム (56名、29名)	11月26日～12月4日	22名(16名、6名)
雫石町	養護老人ホーム (97名、32名)	12月2日～5日	15名(入所者のみ)
盛岡市	老人保健施設 (94名、55名)	12月3日～6日	23名(入所者のみ)
西和賀町	障害者福祉施設 (40名、18名)	12月6日～7日	10名(8名、2名)
九戸村	特別養護老人ホーム (82名、70名)	12月1日～7日	14名(8名、6名)

食中毒の発生について

12月11日に仙台市生活衛生課から、「盛岡市内の旅館に宿泊した仙台市のグループが、食中毒様症状を示し、医療機関を受診した」との連絡があり、盛岡保健所及び環境保健研究センター等で調査を行った結果、この旅館の食事を原因とするノロウイルス食中毒事件と断定した。

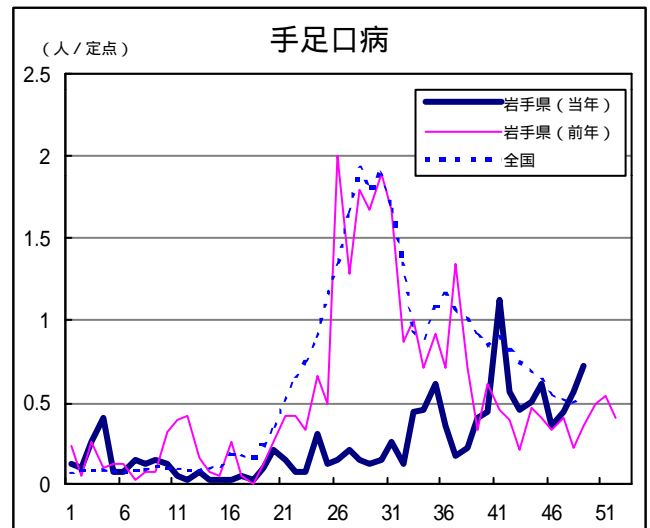
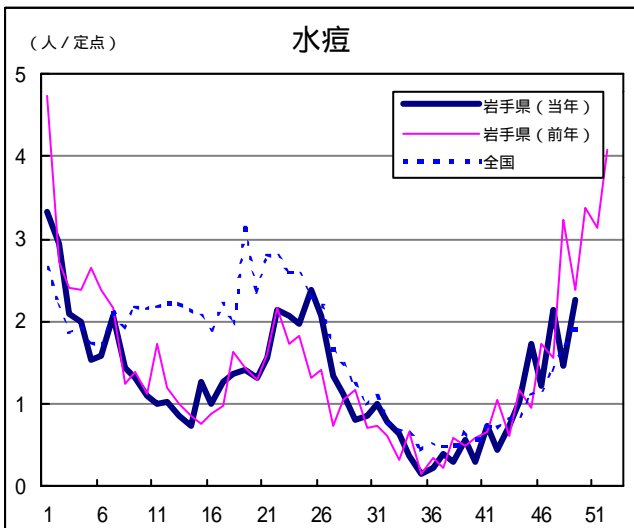
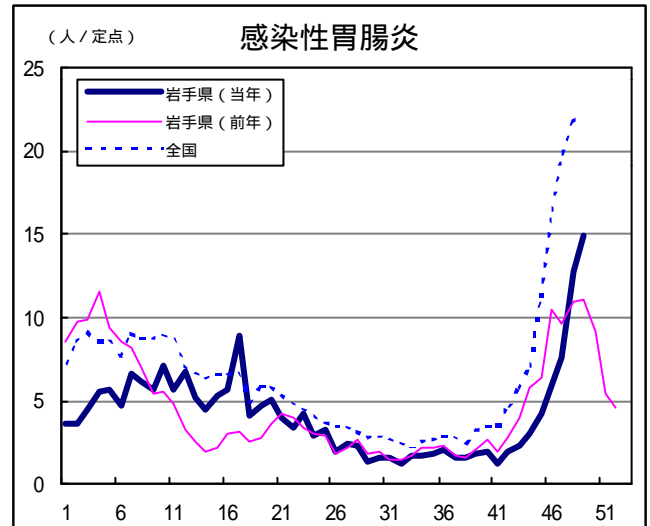
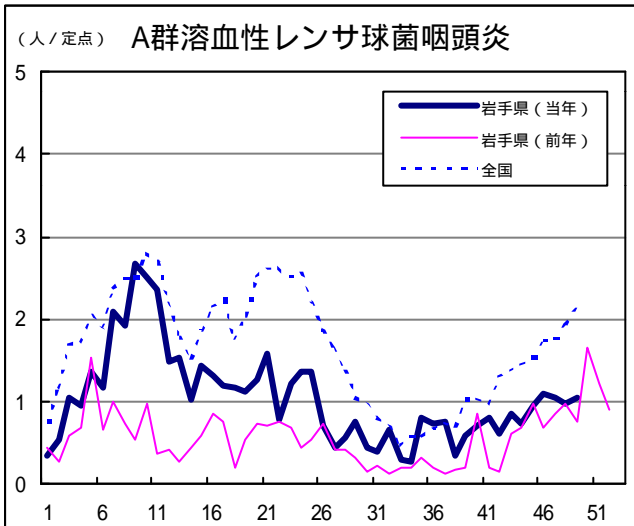
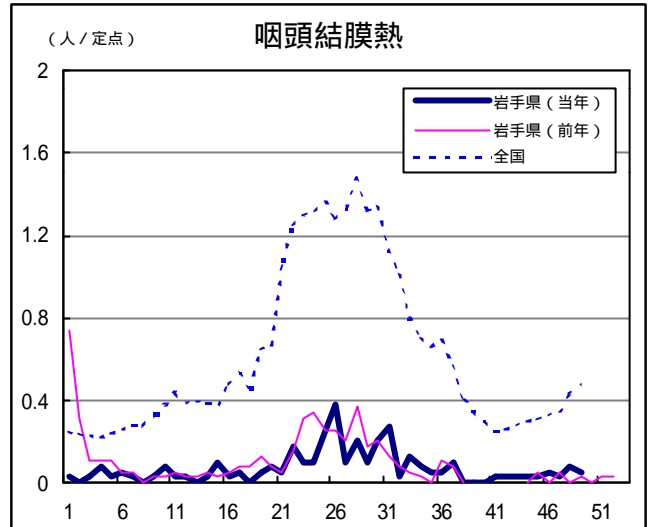
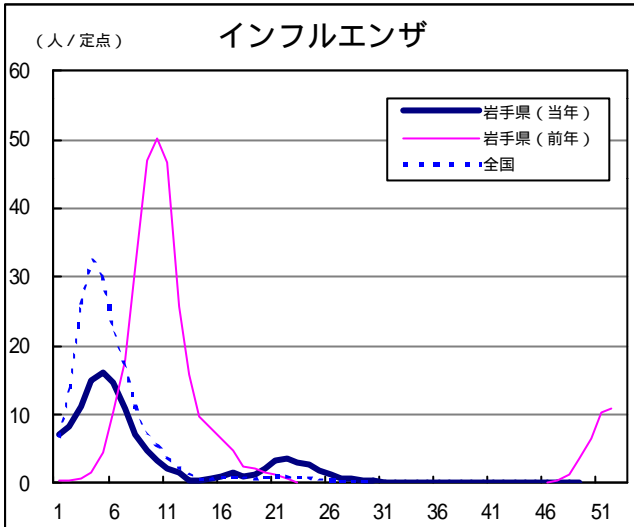
- (1) 初発月日 12月8日(金)午後7時 (2) 有症者 3グループ12名
 (3) 病因物質 ノロウイルス (4) 原因施設 盛岡市内の飲食店(旅館)
 (5) 原因食品 旅館の食事(12月7日の夕食及び12月8日の朝食(推定))

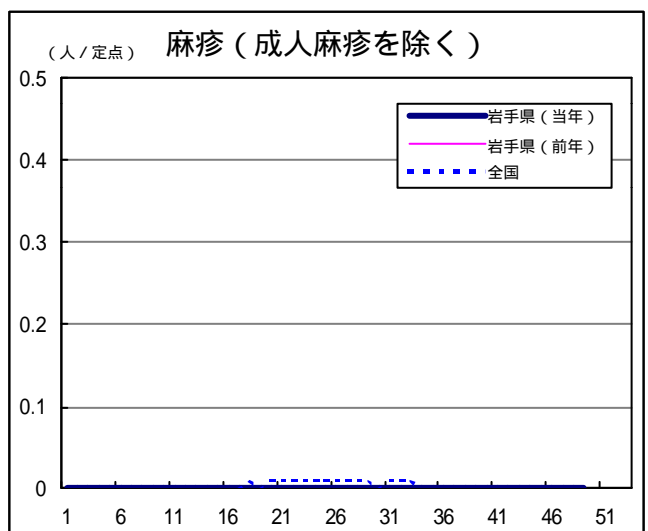
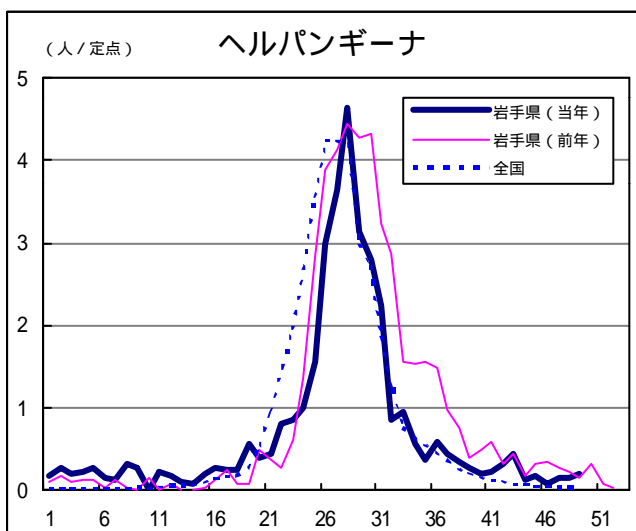
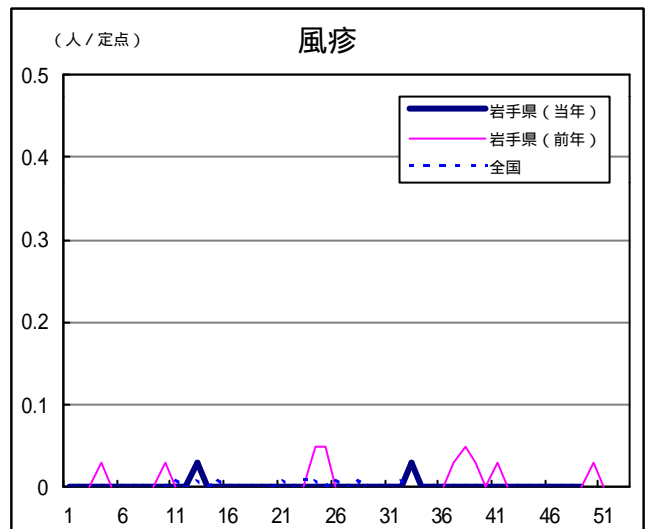
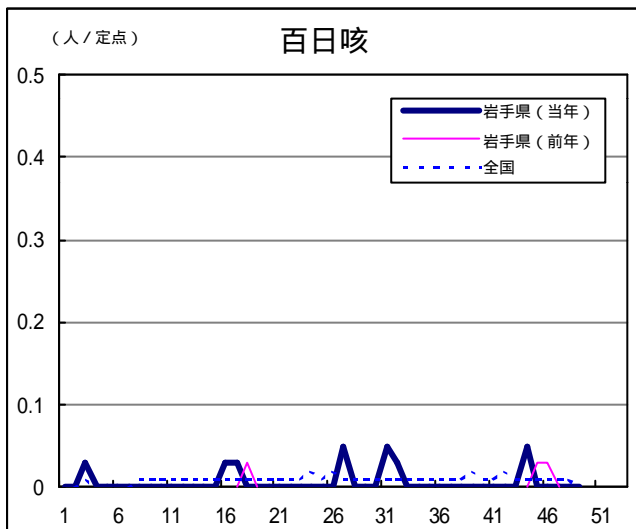
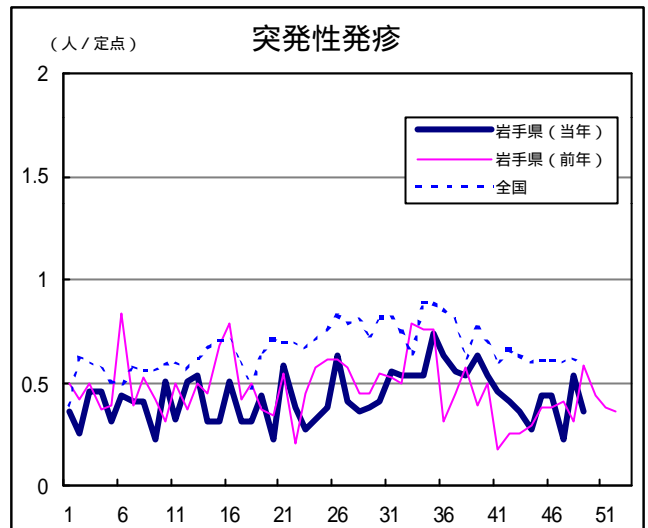
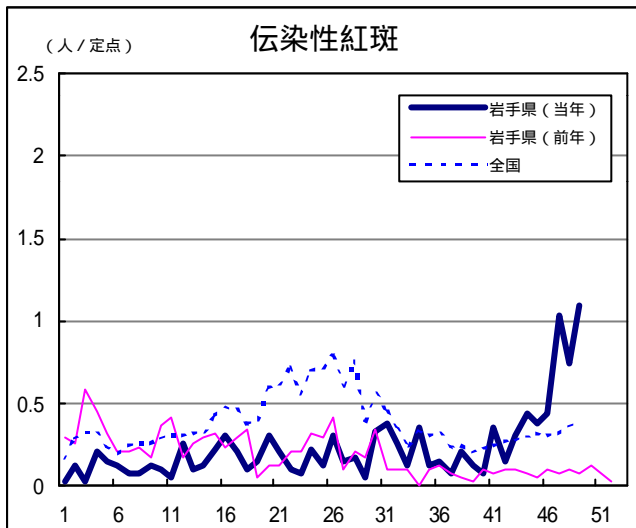
Q & A

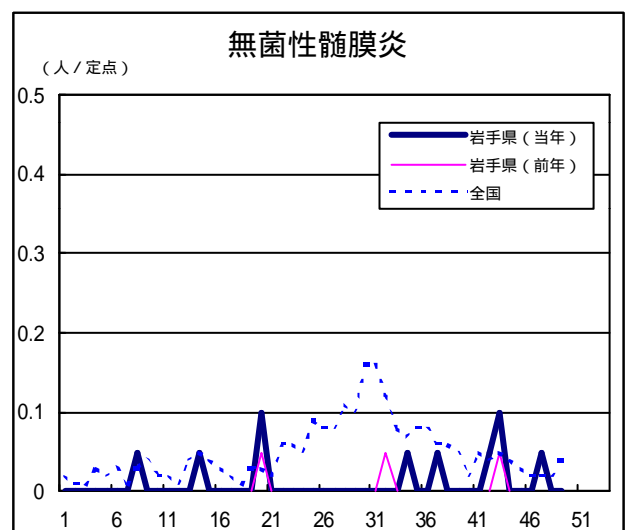
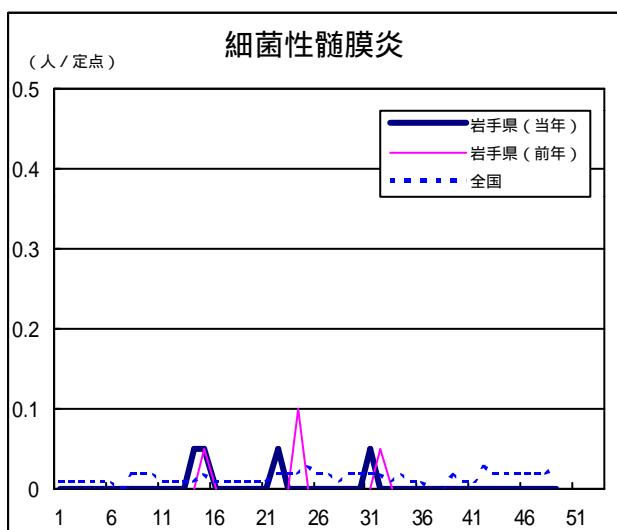
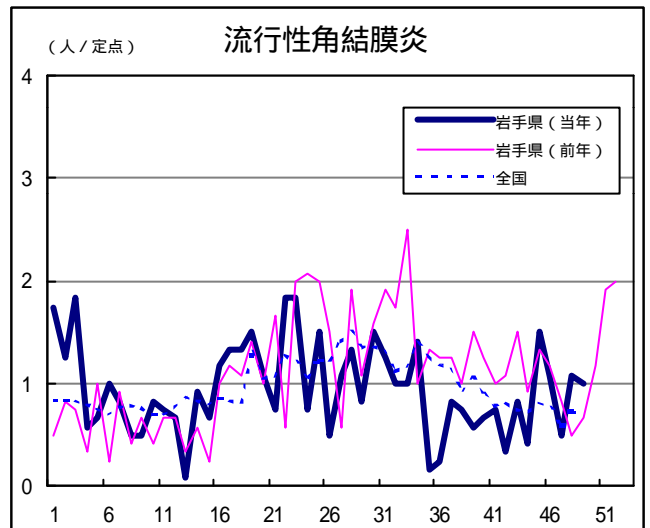
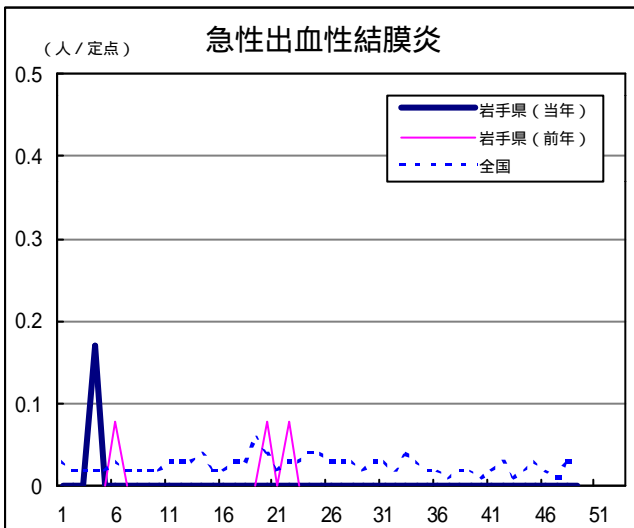
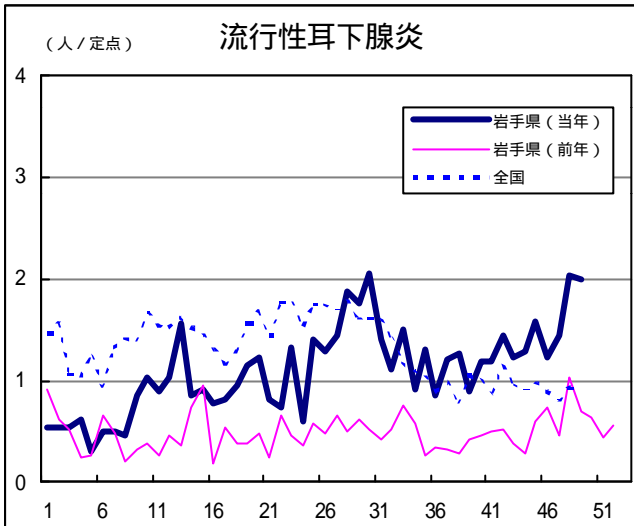
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

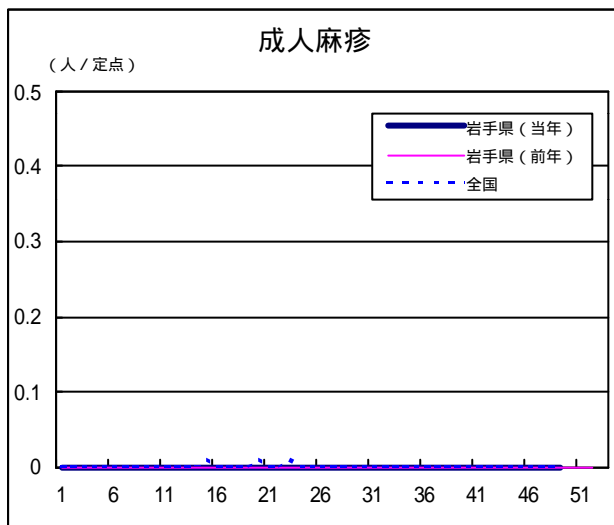
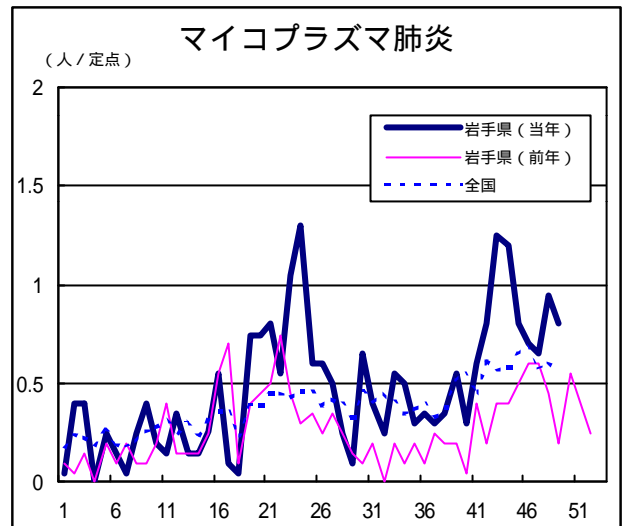
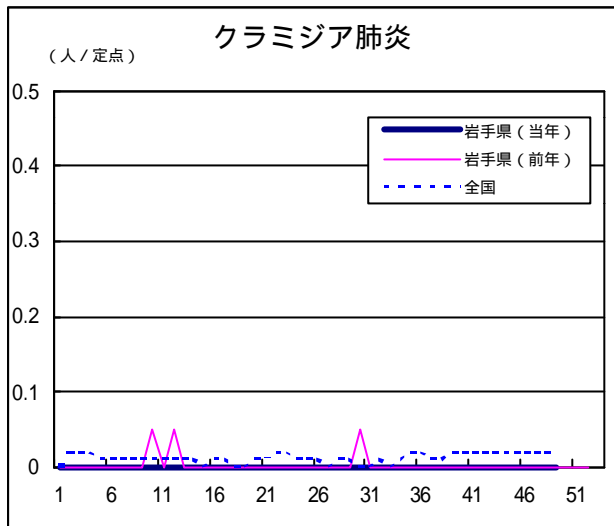
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第49週 平成18年12月15日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail：CC0019@pref.iwate.jp
 URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>